フィスコリサーチレポーター飯村真由の直撃インタビュー
小川アナリストに聞く！「大当たり銘柄を選ぶコツとは？？」

飯村：ともに中小型株・新興市場をメインに値上がり期待の大きな銘柄を選んでいるという点において、小川さんのレポート銘柄は私も注目しています。特に 1 月号の**日本マイクロニクス<6871>**予想は大当たりでしたよね！イメージ通りの値動きでしたか？注目した理由も教えてください。

小川：昨年 11 月あたりから業績が急速に改善している点に注目していました。12 月に**「量子電池」**の話題で株価が急騰となりましたが、業績とテーマを伴う株は上昇基調が長く続くことが多いため 10000 円を目指す展開を想定し、単独レポート 1 月号で取り上げました。2 月に入り業績を上方修正したことで一段高となり 10000 円に到達したことに関しては、正直想定以上のスピード感ではありました。

飯村：**日本マイクロニクス**のようにすでに強い動きを見せている銘柄に対して、上値追いを期待した判断基準はどこでしょうか？

小川：テーマ株であれば、そのテーマが一時的なものなのか、中長期的なものかを判断することが重要だと考えています。例えば、スマホ向けゲームがちょっと流行ったくらいでは株価は一時的に急騰しても続かないことが多いですが、中長期で期待できるテーマ・業績成長などがイメージできる銘柄は上値追いとなりやすいです。**日本マイクロニクス**の場合でいうと、**「量子電池」**は中長期的なテーマになり得るため「夢」を買うようなイメージかもしれませんが、それに乗るのも大事ではないでしょうか。

飯村：私も小川さんも派手な銘柄が好き！という印象があるのですが、いつもどんな風に銘柄を選んでいますか？一番重視しているポイントを教えてください。

小川：重視しているのは、**「短期」と「中長期」の銘柄を区別**すること。「短期」は今話題となっているテーマ、新聞のニュースなどから連想される銘柄をできるだけタイムリーに選ぶことを意識しています。「中長期」は業績が安定して良い、または業績に変化が起きている銘柄に注目しています。業績を伴いながら株価が上昇している銘柄に素直に付いていくこと、「順張り」がセオリーでしょう。

飯村：私の単独レポートのウリは**「購入しやすい価格帯の中から成長株を厳選×短期値幅狙い」**なのですが、小川さんのレポートのアピールポイントは何でしょうか？

小川：週間～月間のパフォーマンスを重視していて、中長期ではまずまずのパフォーマンスが出ているはずと認識しています。銘柄のパフォーマンスだけでなく、新しい投資の切り口（見方）を提供できればなと思っています。

飯村：私たちの単独レポート 3 月号が 2 月 24 日(火)にリリースとなりますので、是非注目してもらいたいですよね！